

# 入 札 公 告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 6 年 7 月 1 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産資源研究所管理部門長 木白 俊哉

## 1. 調 達 内 容

- ( 1 ) 調 達 件 名 及 び 数 量 ( 単 価 契 約 ) 植 物 プ ラ ン ク ト ン 同 定 ・ 計 数 業 務 一 式
- ( 2 ) 調 達 仕 様 入 札 説 明 書 に よ る 。
- ( 3 ) 履 行 期 限 令 和 7 年 3 月 1 9 日
- ( 4 ) 履 行 場 所 入 札 説 明 書 に よ る 。
- ( 5 ) 入 札 方 法 入 札 金 額 は 、 契 約 希 望 単 価 に 予 定 検 体 数 を 乗 じ て 算 出 し た 金 額 を 記 載 さ れ た 金 額 ( 当 該 金 額 に 1 円 未 満 の 端 数 を 切 捨 て 及 び 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 を 入 札 者 は 、 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 を 入 札 書 に 記 載 し た 金 額 を 切 捨 て 及 び 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 を 入 札 書 に 記 載 し た 金 額 に 1 0 0 分 の 1 0 0 に 相 当 す る 金 額 と す る 。

## 2. 競 争 参 加 資 格

- ( 1 ) 国 立 研 究 開 発 法 人 水 産 研 究 ・ 教 育 機 構 契 約 事 務 取 扱 規 程 ( 平 成 1 3 年 4 月 1 日 付 け 1 3 水 研 第 6 5 号 ) 第 1 2 条 第 1 項 及 び 第 1 3 条 の 規 定 に 該 当 し な い 者 で あ る こ と 。
- ( 2 ) 令 和 4 ・ 5 ・ 6 年 度 国 立 研 究 開 発 法 人 水 産 研 究 ・ 教 育 機 構 競 争 参 加 資 格 又 は 全 省 庁 統 一 資 格 の 「 役 務 の 提 供 等 契 約 」 の 業 種 「 調 査 ・ 研 究 」 又 は 「 そ の 他 」 で 「 A 」 、 「 B 」 、 「 C 」 又 は 「 D 」 い ず れ か の 等 級 に 格 付 け さ れ て い る 者 で あ る こ と 。
- ( 3 ) 国 立 研 究 開 発 法 人 水 産 研 究 ・ 教 育 機 構 理 事 長 か ら 物 品 の 製 造 契 約 、 物 品 の 販 売 契 約 及 び 役 務 等 契 約 指 名 停 止 措 置 要 領 に 基 づ く 指 名 停 止 を 受 け て い る 期 間 中 で な い こ と 。
- た だ し 、 全 省 庁 統 一 資 格 に 格 付 け さ れ て い る 者 で あ る 場 合 は 、 国 の 機 関 の 同 様 の 指 名 停 止 措 置 要 領 に 基 づ く 指 名 停 止 を 受 け て い る 期 間 中 で な い こ と 。
- ( 4 ) 暴 力 団 員 に よ る 不 当 な 行 為 の 防 止 等 に 関 す る 法 律 ( 平 成 3 年 法 律 第 7 7 号 ) 第 3 2 条 第 1 項 各 号 に 掲 げ る 者 で な い こ と 。
- ( 5 ) 本 業 務 を 履 行 し う る 知 識 、 技 術 を 有 す る こ と を 証 明 し た 者 で あ る こ と 。
- ( 6 ) 仕 様 書 を 踏 ま え た 実 施 体 制 を 整 備 す る と 共 に 、 業 務 責 任 者 ( 分 析 結 果 に お け る 全 責 任 を 負 う 者 ) を 有 し て い る こ と を 証 明 し た 者 で あ る こ と 。

## 3. 入 札 説 明 書 等 の 交 付 方 法

- 競 争 参 加 希 望 者 は 、 以 下 に よ り 入 札 説 明 書 等 ( 入 札 説 明 書 、 入 札 心 得 書 、 契 約 書 案 、 入 札 書 様 式 、 委 任 状 様 式 等 ) の 交 付 を 受 け る こ と 。
- ① 直 接 交 付  
長 崎 県 長 崎 市 多 良 町 1 5 5 1 - 8  
国 立 研 究 開 発 法 人 水 産 研 究 ・ 教 育 機 構 水 産 資 源 研 究 所  
管 理 部 門 管 理 課  
電 話 0 9 5 - 8 6 0 - 1 6 2 6  
F A X 0 9 5 - 8 5 0 - 7 7 6 7
- ② 郵 送 に よ る 交 付  
封 書 に 「 ( 単 価 契 約 ) 植 物 プ ラ ン ク ト ン 同 定 ・ 計 数 業 務 入 札 説 明 書 希 望 」 と 記 入 し 、 返 信 用 封 筒 ( 角 2 ) に 2 5 0 円 切 手 を 貼 付 し 、 上 記 ① あ て 郵 送 の こ と 。
- ③ メ ー ル に よ る 交 付  
任 意 書 式 に 「 ( 単 価 契 約 ) 植 物 プ ラ ン ク ト ン 同 定 ・ 計 数 業 務 入 札 説 明 書 メ ー ル に て 希 望 」 と 記 入 し 、 社 名 、 担 当 者 名 、 メ ー ル ア ド レ ス 、 電 話 番 号 を 記 載 の う え 、 上 記 ① あ て F A X 送 信 す る こ と 。



- ④ 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上  
一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

- ① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）  
② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

(5) その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。また、応募又は契約の締結をおこなうにあたり、ご応募又は契約の締結を希望する場合は、ご了解願います。

## 9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：[http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge\\_request/note\\_contract.pdf](http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf)）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大、学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

# 業務仕様書

1. 件名 (単価契約)植物プランクトン同定・計数業務
2. 業務目的 別紙業務内容のとおり
3. 試料 別紙業務内容のとおり
4. 納入期限 令和7年 3月19日
5. 業務内容 下記3件の分析業務を行うこと。詳細については別紙業務内容(1)、(2)、(3)のとおりとする。

- (1)東シナ海大型クラゲ調査における植物プランクトン分析業務
- (2)東シナ海における主要浮魚類の生息域における植物プランクトン分析業務
- (3)画像解析によるプランクトンモニタリング体制のための植物プランクトン分析業務

※試料は中性ホルマリン固定標本。光学顕微鏡下にて種もしくは分類群別に同定後、計数及び平均サイズの計測を行うこと。詳細は以下のとおり。

## 1) 試料前処理(全試料)

海水の容量を測定した後、静沈により試料を濃縮するとともに沈澱量を測定すること。送付する試料は、約 500mlの海水に中性ホルマリン原液を 10ml添加したもの。また、引き渡しにかかる費用は当所負担とする。

## 2) 検鏡・同定及び平均サイズ計測(全試料)

### 2)－1: 同定計数

- ・珪藻類・渦鞭毛藻類・藍藻類・黄金色藻類について、原則種レベルまで(困難な場合は担当職員と相談の上で属レベルまでとする)同定後計数すること。
- ・ハプト藻類・プラシノ藻類・ユーグレナ藻類・ラフィド藻類・クリプト藻類及びその他の不明微小鞭毛藻については、分類群毎に計数すること。ただし、ハプト藻類のうち円石藻類で形態の特徴から種レベルでの計数が可能と判断される種については、種毎に計数すること。
- ・結果表は、同定を行った種名(もしくは分類群)に通し番号を付けて記載すること。

### 2)－2: サイズ計測

- ・2)－1で同定した全種(もしくは属・分類群)について、各試料毎に長径及び短径を計測すること。細胞の形状が球状の場合は、直径のみの計測とする。
- ・計測は出現密度に応じて、 $n=1\sim 10$  で実施を行い、平均サイズを記録すること。また、出現種毎のサイズのバラツキの程度(下記サイズ情報 A～D)を記録に残すこととする。
- ・なお、同一種であっても長径サイズが大きく異なる場合(下記サイズ情報 D を上回るもの)は、あらかじめ定めた長径サイズレンジ(下記長径サイズレンジ参照)毎に計数及び計測を行うこと。ただし、その場合は同一種の別サイズ区分であることが読み取れるように、結

果表にて種名の通し番号に枝番を付けて記載すること。

\* サイズ情報同一種のサイズについて以下のAからDの記録を残す

A: サイズはほとんど均質(20%以内の変異)

B: 長径サイズは 20-50%程度の変異以内

C: 長径サイズは 100%以内の変異

D: 長径サイズは 100-150%程度の変異

Dを上回る変異の場合は、同一種でも別途の計数対象とする

\* 長径サイズレンジ(単位  $\mu\text{m}$ ); <2, 2-5, 5-10, 10-15, 15-20, 20-25, 25-36, 36-50, 50-70, 70-100, 100-120, 120-150, 150-200, 200-250, 250-360, 360-500, 500-700, 700-1000, <1000 の各レンジ

### 3) 濃縮・同定済み試料

濃縮・同定後の試料は、内容物が特定できるラベルをつけたスクリー管瓶に保存し、当所へ返送すること。スクリー管瓶のラベルの記載を試料ボトルの記載内容と変更する場合(通し番号等とする場合は、ラベル記載と試料内容の対応表を作成して添付すること。スクリー管瓶は、業務を行う者が適当な容量のものを準備すること。

6. 同定精度 東シナ海における植物プランクトン試料の同定実績を有するもの、且つ、検鏡下でのプランクトン細胞容積測定(海域は問わない)の実績を有するものが担当すること。検鏡担当者の植物プランクトン試料の同定実績(経験年数・海域・細胞容積測定方法等)を報告すること。
- また、別紙出現種名リストに掲載の種(東シナ海 2007 年試料で出現が確認されている種)について、種レベルで査定できる能力を有するものが検鏡を担当すること。

7. 納入場所 〒851-2213  
長崎県長崎市多以良町 1551-8  
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 長崎庁舎  
成果品は、業務完了後に、同定結果及び種(もしくは属・分類群)別の出現個体数及び平均サイズ等の分析結果一覧表をエクセルファイルで作成し、メールで提出すること。

### 8. その他

- ① 請負業者は試料受領後、速やかに試料と試料一覧表を照合し、試料の状態等について確認を行い、担当職員へ受領した旨を連絡する。試料と試料一覧表との不一致や輸送中の事故があった場合は、取扱いについて担当職員と協議する。なお、引き渡しにかかる送料等は当所負担とする。
- ② 業務に必要な消耗品等は請負業者にて準備すること。
- ③ 成果品の提出の際は必ずファイルのウィルスチェックを行うこと。

- ④ 成果品について当所におけるチェック結果によっては該当の全サンプルの再検を求めることがある。また、仕様書に反する成果品が提出された場合や当所でのクロスチェック結果と大きく異なる場合においても全サンプルの再検を求めることがある。なお、返却時の送料・容器は請負業者負担とする。
- ⑤ 詳細については担当職員の指示に従うこと。特に作業中に疑義が生じた場合は、必ず担当職員と打ち合わせを行い、合意を得たうえで作業を進めること。
- ⑥ 本業務で知り得た情報について、取扱責任者を置き、社内で適切に管理を行うこと。
- ⑦ 業務で知り得た情報について、第三者への開示をしないこと。

## 業務内容(1)

1. 件名 東シナ海大型クラゲ調査における植物プランクトン分析業務
2. 業務目的 東シナ海では近年、夏季に大型クラゲが出現している。出現密度は年々変動を示すが、東シナ海的环境や低次生態系構造の変化がその一因である可能性が指摘されている。このため、大型クラゲの出現密度増大期である6・7月の東シナ海における植物プランクトンの種組成及び現存量を把握し、環境変動とクラゲの出現との関連を把握するための資料とする。
3. 試料 約48検体(約48検体は8月末の発送予定)  
(東シナ海大型クラゲ調査航海にてバケツ採水もしくはニスキン採水で表層もしくは中層クロロフィル極大層から採集した海水サンプル)  
※試料はいずれも中性ホルマリン(2%)固定、試水量は約500mL。

## 業務内容(2)

1. 件名 東シナ海における主要浮魚類の生息域における植物プランクトン分析業務
2. 業務目的 東シナ海は主要浮魚類の重要な生息域であり、ここでの餌料環境の把握は資源評価の高度化のため不可欠な知見となる。東シナ海では冬季から春季にかけて珪藻類から渦鞭毛藻類へ遷移していることが確かめられており、この遷移は動物プランクトンを介して主要浮魚類の餌料環境に影響を及ぼすと考えられる。このため、冬春季の東シナ海における植物プランクトンの種組成及び現存量を把握し、主要浮魚類の餌料環境を理解するための資料とする。
3. 試料 約42検体(大部分を契約完了後に発送予定、残りは10月末の発送予定)  
(東シナ海調査航海にてバケツ採水もしくはニスキン採水で表層もしくは中層クロロフィル極大層から採集した海水サンプル)  
※試料はいずれも中性ホルマリン(2%)固定、試水量は約500mL。

## 業務内容(3)

1. 件名 画像解析によるプランクトンモニタリング体制のための植物プランクトン分析業務
2. 業務目的 資源評価の高度化には、それらの餌料環境について把握することが不可欠となる。植物プランクトンは動物プランクトンを介して主要浮魚類の生産を支える主要な餌料環境の構成要素である。これまでの顕微鏡により観察では処理数が限られるので、画像解析技術を用いて簡便・迅速にプランクトン組成を把握することが望まれる。一方で、画像解析技術の高度化には顕微鏡観察による従来データとの比較が不可欠である。このため、東シナ海において植物プランクトンの種組成及び現存量を顕微鏡観察によりデータベース化することで画像解析用の比較データの整備を進める。
3. 試料 約15検体(10月末の発送予定)  
(東シナ海調査航海にてバケツ採水もしくはニスキン採水で表層もしくは中層クロロフィル極大層から採集した海水サンプル)  
※試料はいずれも中性ホルマリン(2%)固定、試水量は約500mL。

## (別紙)既出種リスト

	種名
藍藻	<i>Trichodesmium thiebautii</i>
	<i>Richelia intracellularis</i>
渦鞭毛藻	<i>Brachydinium capitatum</i>
	<i>Brachydinium capitatum</i>
	<i>Ceratium arietinum</i>
	<i>Ceratium azoricum</i>
	<i>Ceratium belone</i>
	<i>Ceratium bipes</i>
	<i>Ceratium breve</i>
	<i>Ceratium carriense</i>
	<i>Ceratium declinatum</i>
	<i>Ceratium deflexum</i>
	<i>Ceratium falcatum</i>
	<i>Ceratium furca</i>
	<i>Ceratium fusus</i>
	<i>Ceratium gibberum</i>
	<i>Ceratium horridum</i>
	<i>Ceratium inflatum</i>
	<i>Ceratium kofoidii</i>
	<i>Ceratium lineatum</i>
	<i>Ceratium lunula</i>
	<i>Ceratium macroceros</i>
	<i>Ceratium massiliense</i>
	<i>Ceratium paradoxides</i>
	<i>Ceratium pulchellum</i>
	<i>Ceratium teres</i>
	<i>Ceratium trichoceros</i>
	<i>Ceratium tripos</i>
	<i>Ceratium vultur</i>
	<i>Ceratocorys horrida</i>
	<i>Dinophysis acuminata</i>
	<i>Dinophysis caudata</i>
	<i>Dinophysis cunens</i>
	<i>Dinophysis infundibula</i>
	<i>Dinophysis mitra</i>
	<i>Dinophysis rotundata</i>
	<i>Dinophysis rudgei</i>
	<i>Goniodoma polyedricum</i>
	<i>Gonyaulax digitale/spinifera</i>
	<i>Gonyaulax polygramma</i>
	<i>Gonyaulax spinifera</i>
	<i>Gonyaulax verior</i>
	Gymnodiniales Polykrikaceae
	<i>Gymnodinium breve</i>
	<i>Gyrodinium falcatum</i>
	<i>Heterocapsa triquetra</i>
	<i>Noctiluca scintillans</i>
	<i>Oxytoxum caudatum</i>
	<i>Oxytoxum curvatum</i>
	<i>Oxytoxum laticeps</i>
	<i>Oxytoxum scolopax</i>
	<i>Oxytoxum tessellatum</i>
	<i>Oxytoxum variable</i>
	Peridinales <i>Heterocapsa</i>
	<i>Podolampas bipes</i>
	<i>Podolampas spinifera</i>
	<i>Pronoctiluca pelagica</i>
	<i>Pronoctiluca rostrata</i>
	<i>Pronoctiluca spinifera</i>
	<i>Prorocentrum balticum</i>
	<i>Prorocentrum compressum</i>
	<i>Prorocentrum dentatum/Prorocentrum donghaiense</i>
	<i>Prorocentrum gracile</i>
	<i>Prorocentrum micans</i>
	<i>Prorocentrum minimum</i>
	<i>Prorocentrum triestinum</i>
	<i>Protoceratium reticulatum</i>
	<i>Protoperidinium bipes</i>
	<i>Protoperidinium conicum</i>
	<i>Protoperidinium depressum</i>
	<i>Protoperidinium elegans</i>
	<i>Protoperidinium oblongum</i>
	<i>Protoperidinium pallidum</i>
	<i>Protoperidinium pellucidum</i>
	<i>Protoperidinium steinii</i>
	<i>Pyrocystis noctiluca</i>
	<i>Pyrophacus horologium</i>
	<i>Pyrophacus steinii</i>
	<i>Scrippsiella trochoidea</i>
	<i>Torodinium teredo</i>

	種名
珪藻類	<i>Actinoptychus senarius</i>
	<i>Apedinella spinifera</i>
	<i>Asterionella glacialis</i>
	<i>Asteromphalus arachne</i>
	<i>Asteromphalus cleveanus</i>
	<i>Asteromphalus heptactis</i>
	<i>Asteromphalus sarcophagus</i>
	<i>Bacteriastrum comosum</i>
	<i>Bacteriastrum elongatum</i>
	<i>Bacteriastrum minus</i>
	<i>Bacteriastrum varians</i> (syn. <i>Bacteriastrum furcatum</i> )
	<i>Bellerochea horologicalis</i>
	<i>Biddulphia sinensis</i> (= <i>Odontella sinensis</i> )
	<i>Cerataulina bicornis</i>
	<i>Cerataulina dentata</i>
	<i>Cerataulina pelagica</i>
	<i>Chaetoceros affine</i>
	<i>Chaetoceros atlanticum</i> var. <i>neapolitanum</i>
	<i>Chaetoceros compressum</i>
	<i>Chaetoceros constrictum</i>
	<i>Chaetoceros debile</i>
	<i>Chaetoceros decipiens</i>
	<i>Chaetoceros eibenii</i>
	<i>Chaetoceros lauderi</i>
	<i>Chaetoceros lorenzianum</i>
	<i>Chaetoceros messanense</i>
	<i>Chaetoceros peruvianum</i>
	<i>Chaetoceros subsecundum</i> (syn. <i>Chaetoceros diadema</i> )
	<i>Climacodium biconcavum</i>
	<i>Climacodium frauenfeldianum</i>
	<i>Corethron hystrix</i>
	<i>Coscinodiscus asteromphalus</i>
	<i>Coscinodiscus centralis</i>
	<i>Coscinodiscus granii</i>
	<i>Coscinodiscus radiatus</i>
	<i>Cylindrotheca closterium</i>
	<i>Detonula pumila</i>
	<i>Dictyocha fibula</i>
	<i>Eucampia cornuta</i>
	<i>Eucampia zodiacus</i>
	<i>Haslea wawriake</i>
	<i>Hemiaulus hauckii</i>
	<i>Hemiaulus membranaceus</i>
	<i>Hemiaulus sinensis</i>
	<i>Leptocylindrus danicus</i>
	<i>Leptocylindrus mediterraneus</i>
	<i>Leptocylindrus minimus</i>
	<i>Mastogloia rostrata</i>
	<i>Melosira sulcata</i> (= <i>Paralia sulcata</i> )
	<i>Navicula membranacea</i>
	<i>Neodelphineis pelagica</i>
	<i>Nitzschia longissima</i>
	<i>Odontella longicruris</i>
	<i>Podolampas spinifera</i>
	<i>Pseudohimantidium pacificum</i>
	<i>Pseudo-nitzschia multistriata</i>
	<i>Rhizosolenia alata</i> (= <i>Proboscia alata</i> )
	<i>Rhizosolenia alata</i> f. <i>gracillima</i>
	<i>Rhizosolenia bergonii</i>
	<i>Rhizosolenia calcar avis</i>
	<i>Rhizosolenia castracanei</i>
	<i>Rhizosolenia clevei</i> var. <i>clevei</i>
	<i>Rhizosolenia clevei</i> var. <i>communis</i>
	<i>Rhizosolenia delicatula</i>
	<i>Rhizosolenia formosa</i>
	<i>Rhizosolenia fragilissima</i>
	<i>Rhizosolenia hyalina</i>
	<i>Rhizosolenia imbricata</i>
	<i>Rhizosolenia indica</i>
	<i>Rhizosolenia setigera</i>
	<i>Rhizosolenia stolterfothii</i>
	<i>Skeletonema costatum</i>
	<i>Thalassionema nitzschioides</i>
	<i>Thalassiothrix frauenfeldii</i>
黄金色藻	<i>Anoplosolenia brasiliensis</i>
	<i>Apedinella spinifera</i>
	<i>Calciosolenia murrayi</i>
	<i>Dictyocha fibula</i>
	<i>Distephanus speculum</i>
	<i>Pontosphaera syracusana</i>
ハプト藻	<i>Anoplosolenia brasiliensis</i>
	<i>Calcioappus caudatus</i>
	<i>Calciosolenia murrayi</i>
	<i>Ophiaster hydroideus</i>
	<i>Pontosphaera syracusana</i>